

天理大学公開講座

穴井隆将氏が講演

ロンドン五輪柔道100キロ級の日本代表で、4月の全日本選手権優勝を最後に現役を引退した天理大学柔道部副監督の穴井隆将氏が5月18日、市文化センターで開かれた天理大学公開講座で「天理柔道の魅力—柔道における心技体—」と題し講演しました。

穴井氏は天理高、天理大に進んだ経緯や教わったことを伝え、「心が技を動かし、体を動かす。技を出すことのできる体の使い方を考え、感謝する心の持ち方が大切」と心技体についてを説明。そして「これから天理柔道は、一本を取る柔道と執念で戦う柔道を再認識し、中学・高校・大学の連携の中で地域・学校・保護者が一体となり、個々の能力を発揮させる指導が求められる」と強調しました。



▲柔道における心技体について説明する穴井氏

▶体を動かすことが大好きな
大浦さん



▶旅行が大好きで日本各地を
旅行された城さん



長寿を祝って 百歳訪問 これからもお元気でお過ごしください



▲お話をするのが大好きな石村さん

5月20日、南市長が市内の満百歳になられた長寿の方々を訪問しました。
三島町の城正子さんは、30歳でご主人を亡くされた後、女手一つで5人の子どもを育てられたそうです。趣味は旅行で、現在もお孫さんに連れられてよくドライブをするそうです。
岸田町の大浦ムツミさんは、三姉妹の次女に生まれ、お姉さんが103歳、妹さんが90歳と、姉妹そろってご長寿です。散歩と、体操が趣味で、現在お住まいのひびきの郷を運動も兼ね、よく散歩されているそうです。
櫻本町の石村チエさんは、若いころ病院で勤務させていたこともあり、現在お住まいのグループホームみやぎ乙木口では、自発的に職員の皆さんと食事の配膳や生け花など、お手伝いをされ、皆さんから大変喜ばれているそうです。